

日	開始	終了	座長	講演者	所属	講演カテゴリー	題目
12月20日	9:10	9:15	吉信淳			開会	
	9:15	10:15		松永隆祐	東大物性研	チュートリアル講演(50+10)	テラヘルツ分光の基礎と固体の高速ダイナミクス研究
	10:15	11:15		井手上敏也	東大物性研	チュートリアル講演(50+10)	対称性制御によるファンデルワールス結晶界面の物性開拓
	11:15	11:30				休憩	
	11:30	12:15		稲垣 泰一	慶應大理工	招待講演(40+5)	低波数ラマン分光シミュレーションによる界面水の分子間振動と緩和ダイナミクス
	12:15	13:30				昼休み	
	13:30	14:00	渡邊一也	Yu-Chan Tai	National Yang Ming Chiao Tung University	学生賞応募講演(20+10)	Energy Transfer Between Alq3 Molecules and Si Revealed by Ultrafast Pump-Probe Spectroscopy
	14:00	14:30		Linghui Li	筑波大学	学生賞応募講演(20+10)	Development of highly stable r-BS+G electrocatalyst for the oxygen evolution reaction
	14:30	15:00		Zhipeng Wang	東北大学	学生賞応募講演(20+10)	Unveiling spin configurations of Kondo molecular magnet on superconductor surface with sub-molecular resolution
	15:00	15:15				休憩	
	15:15	15:45	杉本敏樹	李鴻宇	東京大学	学生賞応募講演(20+10)	第一原理計算によるPt(111)表面におけるCOの酸化脱離反応ダイナミクスの理論的研究
	15:45	16:15		片岡佑太	東京大学	学生賞応募講演(20+10)	機械学習ポテンシャルによる金属表面水素拡散の経路積分分子動力学計算
	16:15	16:45		合戸 洸平	東京大学	学生賞応募講演(20+10)	角度分解光電子分光による新規励起子絶縁体候補物質GdGaI の K 蒸着で変化させた電子構造の直接観察
	16:45	17:00				ポスターセッション準備など	
	17:00	18:00				ポスターセッション(6階ラウンジ)	
	18:00	19:30				懇談会(6階ラウンジ)	
12月21日	9:00	9:45	米田忠弘	熊谷崇	分子研	招待講演(40+5)	探針増強ラマン分光による原子・分子スケールの構造とダイナミクスの探索
	9:45	10:15		長塚直樹	京大院理	一般講演(25+5)	インジウムナノ粒子による深紫外近接場と分子の相互作用
	10:15	10:30				休憩	
	10:30	11:00		横田泰之	理化学研究所	一般講演(25+5)	電気化学探針増強ラマン分光を分析ツールとして確立するための技術開発
	11:00	11:30		櫻井敦教	分子科学研究所、総合研究大学院大学	一般講演(25+5)	STM探針-基板間のプラズモンナノキャビティを利用した探針増強和周波発生分光の実現
	11:30	12:00		木村謙介	理化学研究所	一般講演(25+5)	電場駆動トンネル電流による単一分子内での励起子形成
	12:00	13:00				昼休み	
	13:00	13:45	荒船竜一	長谷川修司	東大院理	招待講演(40+5)	量子物質表面の構造・電子状態・電子輸送
	13:45	14:15		一色弘成	物性研究所	一般講演(25+5)	探針誘起 局所温度勾配を利用した Weyl 半金属の 磁気イメージング
	14:15	14:45		大江弘晃	横浜市立大学	一般講演(25+5)	自己組織化構造内で進行するBr <sub>2</sub> -HPB分子の表面反応過程のSTM観察
	14:45	15:00				休憩	
	15:00	15:30	横山崇	春山潤	物性研究所	一般講演(25+5)	摂動電場を用いたPt(111)/表面 水吸着層の二次非線形感受率の第一原理計算
	15:30	16:00		長田渉	物性研究所	一般講演(25+5)	Pd/Cu(111)単原子合金触媒におけるH <sub>2</sub> の活性化とCO <sub>2</sub> 水素化反応
	16:00	16:15				授賞式・閉会	

チュートリアル講演: 50分発表+質疑応答10分  
招待講演: 40分発表+質疑応答5分  
一般口答講演: 25分発表+質疑応答5分  
学生賞応募口頭講演: 発表20分+質疑応答10分

口頭発表は、パソコンからの液晶プロジェクタ投影にて行います。  
チュートリアル講演と招待講演は日本語です。  
口頭発表(スライド)とポスター発表では、英語による表記を推奨します。英語講演も可能です。